



同士のためにも声を上げ続けます



先輩の意思は身に宿っています



同世代にこの思いを伝えたい



成9年からは、根室市に固定して開催しています。会場の総合文化会館には、「島を返せ」と書かれたたすきと鉢巻を身につけた約千人が詰めかけました。大会が始まると、故郷を再び見ることなく他界した元島民などに黙とうをささげ、目を閉じた参加者の表情からは、悔しさや怒り、そして何より、この先必ず解決してほしいという強い思いがにじみ出ていました。来賓による激励に続き、水晶島出身の宮下繁さん、根室青年会議所の岡田勝治さん、国後島3世の熊谷貴史さんが登壇。「早期返還を全国民に訴え、国内外の世論喚起に全力を尽くす。」など、それぞれ決意を表明しました。

引き続き、根室管内の中
学生10人による弁論大会が実施され、北方領土について、自分の考えを力強く発表する姿は、次代を担う返還運動後継者の芽が、着実に育っているを感じ取りさせてくれました。

◆

強 硬姿勢を見せるメドベージェフ・ロシア大統領に強く抗議するため、4年ぶりに屋外で実施となった「北方領土返還の叫び」。朝から広がっていた青空は吹雪模様に一変し、「天は私たちの怒りを代弁してくれている。」との声も聞かれました。

参加者は、「北方領土を返せ！」などと叫びながらこぶしを突き上げ、早期返還を訴えました。

